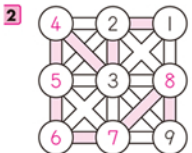
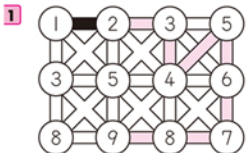


## 答え



3 ① 9 ② 4

## 考え方

1 「2」まで進むと、図の中に「3」が2つあるので、どちらに進むのかを考える必要があります。どちらかを選んで進んでみて、うまくいかない場合は、進む前の位置に戻ります。このように試行錯誤しながら進んでいきます。

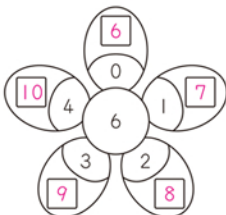
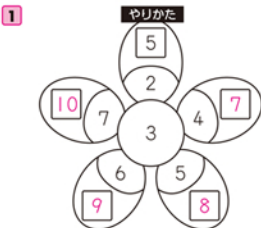
2 「3」まで進んだ後、どの空欄に「4」を入れるのかを考える、大変難易度の高い問題です。1つの○に「4」を入れてみて、「9」まで進めるかどうかを確かめる、という方法で答えを導きましよう。

なお、「9」が右下にあることに着目すると、「3」の右や「3」の下に、「4」は入らないことがわかります。

3 まず、どのようなきまりかを見つけましよう。

- ① 「5大きくなる」きまりです。  
② 「1小さくなる」きまりです。

## 答え



2 ① 4 ② 9 ③ 8 ④ 10 ⑤ 4  
⑥ 6 ⑦ 7 ⑧ 9 ⑨ 10

3 (例)  $0 + 6 = 6$ ,  $1 + 5 = 6$ ,  
 $2 + 4 = 6$ ,  $3 + 3 = 6$ ,  
 $4 + 2 = 6$ ,  $5 + 1 = 6$ ,  
 $6 + 0 = 6$

## 考え方

3 式を書くときには、「 $0 + 6$ ,  $1 + 5$ , ……」のように「 $= 6$ 」を省略してもかまいません。また、「 $1 + 2 + 3 = 6$ 」など、3つ以上の数のたし算を書いてもよいでしょう。

書いた式が少ない場合や、同じ式を書き忘れてしまっている場合でも、正解としたうえで、指摘してあげてください。

## 答え

1 ① (○)  $7 + 0$   $2 + 3$  ( )  
② (○)  $3 + 6$   $4 + 2$  ( )  
③ ( )  $5 + 4$   $5 + 5$  (○)

2 (例)  $0 + 10 = 10$ ,  $1 + 9 = 10$ ,  
 $2 + 8 = 10$ ,  $3 + 7 = 10$ ,  
 $4 + 6 = 10$ ,  $5 + 5 = 10$ ,  
 $6 + 4 = 10$ ,  $7 + 3 = 10$ ,  
 $8 + 2 = 10$ ,  $9 + 1 = 10$ ,  
 $10 + 0 = 10$

3 ① 4 ② 7 ③ 10 ④ 8 ⑤ 9  
⑥ 10 ⑦ 9  
④ ① 3 ② 4 ③ 1 ④ 2 ⑤ 2  
⑥ 0 ⑦ 3 ⑧ 0

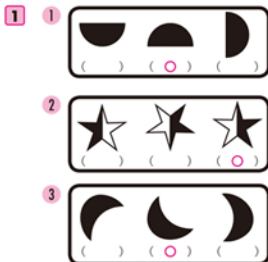
## 考え方

2 式を書くときには、「 $= 10$ 」を省略してもかまいません。また、3つ以上の数のたし算を書いてもよいでしょう。

3 たし算だけの計算では、たす順序を変えても正しい答えを求めることができますが、今の段階では、前(左)から順番に計算するようにしましょう。

4 「1はあといくつで4になる？」のように考えます。または、□に適当な数をあてはめて計算し、計算結果が一致するかどうかを確かめる、という方法で考えることもできます。⑧では、「4と6といくつで10になる？」と言いかえてあげるとよいでしょう。

## 答え



2 ① ②, ④ (順不同)  
② ①, ③ (順不同)

## 考え方

1 鏡に映った形は、左右が逆になります。わかりにくい場合は、実際に絵を鏡に映して考えるとよいでしょう。

2 「もものかたち」と「あたらしいかたち」を見比べて、位置が変わっている棒を見つけます。